

「紫紺の襷、躍動を願って」

こんにちは。競走部を応援してやまない25歳、2019年 政治経済学部卒の柳沢 薫です。新春の風物詩、箱根駅伝まであと1か月。今年の箱根駅伝では優勝候補に挙げられながら、序盤からの悪い流れを断ち切れずまさかの総合11位。8区で区間賞を獲得するなど、随所で強さの片鱗を見せつけることができましたが、次回大会の出場権が約束される10位以内に入ることもできませんでした。

予選会からの再出発を余儀なくされた明治大学競走部。例年、トラックの自己ベストは駒大や青学大などの強豪校に匹敵するレベルを持ち合わせていますが、駅伝やロードレースとなるとその力を発揮できないもどかしさがありました。

しかし、今季の明治は一味違います。10月23日に立川にて行われた予選会。明治大学は2位中大に大差をつけてトップ通過を果たしました。予選会の様子をテレビでご覧になっていた方はお気づきだったかもしれませんが、日本人選手先頭集団では、紫紺のユニフォームが躍動。他大学では1~2名いれば万々歳のところ、実に7名もの選手がこの争いの渦中にいました。予選会で周囲に「強さ」を見せつけ、翌々週に開催された全日本大学駅伝では総合7位入賞。4区の小澤大輝選手(3年生)、7区の橋本大輝選手(4年生)といった駅伝初出場の選手が活躍するなど、収穫の多い駅伝となりました。

11月24日に開催された青学大・立大・中大・法大との対抗戦でも好記録が続出。シード権返り咲き、そして上位争いへ機運は高まっています。

正月決戦まであと僅か。新春、紫紺のアンカーはどのような表情で大手町の

フィニッシュへ飛び込んでくるのでしょうか？

その時を楽しみに待ちたいと思います。

～今後のスケジュール～

12/10 一次エントリー (16名) 発表

12/29 暫定区間エントリー発表 (当日に最大4名まで変更可能)

1/2 第98回箱根駅伝往路

1/3 第98回箱根駅伝復路

◇Twitter : @eki_denden

◇Blog : <https://ameblo.jp/citizenrunnerkei>

「箱根駅伝ファンがきままに綴るブログ」



宜しければご覧ください！

駅伝についての情報を発信しています！

(2021.12.10 記)

私自身もひそかに競技に取り組んでいます！
先日の奥多摩駅伝では2区で
10人抜きを果たしました！